

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール案

今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性有り。

主要な審査項目	審査状況	審査会合 実績回数※1	審査会合 至近実績	準備状況 (%)※2	10月					11月				12月				1月				2月				3月				備考
					2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12	19	
地震・津波	地質	敷地の地質・地質構造	(概ね審議済)	6回																									【凡例】 : 審査会合を実施中の項目 : これまで審査会合を実施していない項目 : クリティカルパスとなる項目 ☆ : 審査会合希望時期 ▼ : 追而資料提出時期	
		敷地周辺の地質・地質構造	(概ね審議済)	10回																										
	地震動	地下構造	(概ね審議済)	2回																										
		震源を特定して策定する地震動	(概ね審議済)	7回																										
		震源を特定せず策定する地震動	(概ね審議済)	2回																										
		基準地震動	(概ね審議済)	2回																										
	基準地震動の年超過確率の参照		0回	—	90																									
	津波	3.11型地震による津波	(概ね審議済)	4回																										
		3.11型地震以外による津波	(概ね審議済)	2回																										
		基準津波	(概ね審議済)	1回																										
津波評価について(基準津波の年超過確率の参照、砂移動評価)		(概ね審議済)	3回																											
地盤・斜面の安定性(第3条)		0回	—	100																										
火山事象	(概ね審議済)	3回																												
耐震設計方針(第4, 39条) ※第3, 38条の設備の地盤への対処も含む	(別紙1のとおり)	3回	H29.6.15																											
耐津波設計方針(第5, 40条)	(別紙2のとおり)	0回	—																											
プラント	外部事象 (第6条)	竜巻に対する設計方針		3回	H27.4.9																									
		論点 竜巻防護ネットの構造及び耐震評価		0回	—	90																								
		火山に対する設計方針		0回	—	90																								
		外部火災に対する設計方針		3回	H27.3.19	100																								
		その他自然現象等に対する設計方針		1回	H27.7.9	100																								
	内部火災(第8条)、SA設備火災(第41条)		4回	H29.11.14																										
	論点 中央制御室床下ケーブルピットの分離対策について		1回	H29.11.14	95																									
	論点 原子炉格納容器内火災防護対策について		1回	H29.11.14																										
	論点 単一火災発生時の安全停止機能維持について		0回	—																										
	内部溢水(第9条)		3回	H27.6.4	90																									
	安全施設等																													
	不法な侵入(第7条)		0回	—	100																									
	誤操作の防止(第10条)		2回	H27.6.2	100																									
	安全避難通路(第11条)		2回	H27.6.2	100																									
	安全施設(第12条)		3回	H27.4.21	90																									
全交流電源喪失(第14条)		0回	—	100																										
使用済燃料プール(第16条、23条)		0回	—	100																										
原子炉冷却材バウンダリ(第17条)		1回	H27.2.24	100																										
安全保護回路(第24条)		2回	H27.6.2	100																										
原子炉制御室(第26条)	(SA側、59条で ご説明)																													
監視設備(第31条)	(SA側、60条で ご説明)																													
保安電源(第33条)		0回	—	100																										
緊急時対策所(第34条)	(SA側、61条で ご説明)																													
通信連絡設備(第35条)	(SA側、62条で ご説明)																													

準備状況 (%) ^{※1}	平成29年												平成30年												備考			
	10月				11月				12月				1月				2月				3月							
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12		19	26	
耐震設計方針(第4, 39条)																												
① 基準適合(共通)																												
1	第4条:地震による損傷の防止																											
1	本文	90%																									★	各論点、各条文に係る審査の反映
2	設計用地震力	100%																									★	
3	動的機能維持の評価	85%																									★	動的機能保持に係る技術基準解釈等の改訂の反映
4	弾性設計用地震動Sd・静的地震力による評価	100%																									★	
5	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討	90%																									★	各条文に係る審査の反映 SA設備審査の反映
6	水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針	85%																									★	先行プラントの審査状況を踏まえ網羅的な整理
7	屋外重要土木構造物の耐震評価における断面選定の考え方	80%																									★	先行プラントの審査状況を踏まえ再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	第39条:地震による損傷の防止																											
1	本文	90%																									★	SA設備審査の反映
2	重大事故等対処設備の設備分類	85%																									★	SA設備審査の反映
3	設計用地震力	90%																									★	SA設備審査の反映
4	重大事故等対処施設の基本構造等に基づく既往の耐震評価手法の適用性と評価方針	85%																									★	SA設備審査の反映
5	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せ	95%																									★	有効性評価審査の反映
② 論点「既工認との差異(建物・構築物)」																												
1	建屋の地震応答解析モデル(東北地方太平洋沖地震による建屋の応答状態等の反映)																											
1	地震後健全性	90%																									★	建屋の初期剛性低下の要因分析等取り纏め
2	初期剛性低下	90%																									★	建屋の初期剛性低下の要因分析等取り纏め
3	耐震補強	90%																									★	ヒアリングを踏まえて修正
4	設備への影響	80%																									★	初期剛性低下の要因確定後、設計体系に取込み
5	設計体系	80%																									★	初期剛性低下の要因確定後、設計体系に取込み
2	建屋地震応答解析における入力地震動の算定	90%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3	弾塑性解析の適用																											
1	応力解析モデル(建物・構築物)への弾塑性解析の適用	80%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	原子炉建屋屋根トラスの解析モデルへの弾塑性解析の適用	80%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
③ 論点「既工認との差異(屋外重要土木構築物)」																												
1	解析手法の精緻化																											
1	時刻歴応答解析の採用	90%																									★	ヒアリングを踏まえて論点再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	限界状態設計法の採用	90%																									★	ヒアリングを踏まえて論点再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	解析モデルの精緻化																											
1	3次元非線形解析の採用	90%																									★	関連:耐震④.3.5電巻防護ネット ヒアリングを踏まえて論点再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3	後施工せん断補強工法の採用	90%																									★	先行プラント審査による評価等を反映 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
④ 論点「既工認との差異(機器・配管)」																												
1	原子炉本体基礎の復元力特性	75%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映 建屋との連成解析結果の反映
2	使用済燃料貯蔵ラックの減衰定数の変更	95%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3	機器・配管系設備に関するその他手法の相違点																											
1	サブプレッションチェンバ内部水質の考え方変更	95%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	原子炉建屋クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用	85%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3	燃料交換機への非線形時刻歴応答解析の適用	70%																									★	改造工事の最新状況反映
4	海水ポンプ室門型クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用	80%																									★	改造工事の最新状況反映
5	海水ポンプ補機エリア 電巻防護ネットのゴム支保採用	75%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
6	立形ポンプの解析モデルの精緻化	95%																									★	重要案件を優先
7	最新知見として得られた減衰定数の採用	90%																									★	重要案件を優先
8	水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根(SRSS)法による組合せ	90%																									★	重要案件を優先
9	鉛直方向応答解析モデルの追加	90%																									★	重要案件を優先
4	機器・配管系設備の既工認からの構造変更	80%																									★	改造工事の最新状況反映
⑤ 地盤の液状化																												
1	地盤の液状化																											
1	液状化評価の基本方針	90%																									★	関連:耐震⑤1.4構築物評価、耐津波②防潮堤の構造成立性 先行プラント審査による評価等を反映
2	液状化強度試験とその代表性評価	90%																									★	関連:耐震⑤1.4構築物評価、耐津波②防潮堤の構造成立性 先行プラント審査による評価等を反映
3	液状化強度特性の設定とその保守性評価	90%																									★	関連:耐震⑤1.4構築物評価、耐津波②防潮堤の構造成立性 先行プラント審査による評価等を反映
4	構築物評価(有効応力解析)	75%																									★	関連:耐震⑤1.1~3地盤の液状化 先行プラント審査による評価等を反映 新たに設定した基準地震動に対する評価反映

【凡例】

- : 審査会を実施中の項目
- : これまで審査会を実施していない項目
- : クリティカルパスとなる項目
- ☆ : 審査会希望時期
- ▼ : 追資料提出時期

